



健康・長寿はお口から、8020 表彰式

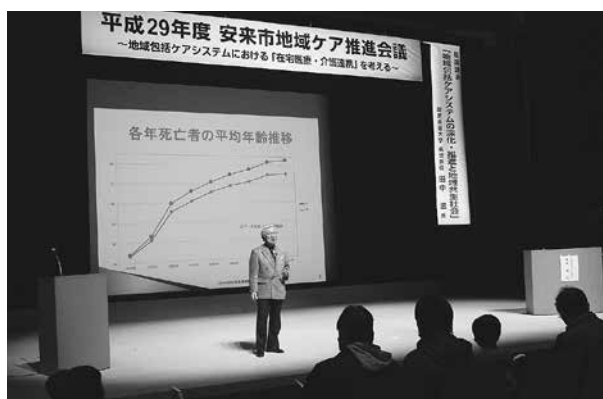
80歳になっても自分の歯が20本以上ある人を表彰する「8020（ハチ・マル・ニイ・マル）表彰式」を1月28日、総合文化ホールで開催！表彰された79人の内、37人が参加。式では一人一人に賞状と記念品が市から贈られました。

受賞者の一人、大森岳さん（大塚町・80歳）は「普段から朝食後と就寝前に歯磨きをしています。時々、歯間ブラシも使います。また、年一回以上は歯科医院に行つて歯の手入れをしてもらっています」と、健康な歯の秘訣を教えてくださいました。

地域包括ケア構築を

地域包括ケアシステム構築について考える地域ケア推進会議が2月4日、安来市総合文化ホールアルテピアで開かれ、保健・福祉・医療・介護関係者など約250人が参加しました。

会ではこの分野の第一人者である慶應義塾大学名誉教授・田中滋氏が講演。田中氏は2025年から年間死者数が150万人を超えるかつてない多死社会が到来するとして、「介護予防からまちづくりまで自助・互助・公助の共生社会の構築が必要だ」と話しました。



講演を行った田中氏。

消防団協力事業所に認定

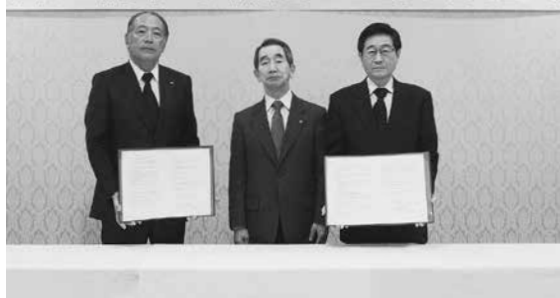
「地域の安心・安全のためにがんばっている社員を応援したい。また、会社として地域の防災に貢献していきたい」と話すのは有限会社米原組（従業員7人）の米原建社長。同社は今年1月、市から消防団協力事業所に認定されました。

この制度は現在、市内の11社を認定。緊急時などには現場に駆け付け、消火・防災活動にあたる消防団員の活動を会社ぐるみで支援しています。市では引き続き協力事業所を募集中です。

▶交付された認定プレートを持つ社員の皆さんと米原社長（右）。



水道施設の災害時復旧支援力に関する協定 合同締結式



◀地震や集中豪雨などの災害時に協定に基づく支援を受けます。

災害時には一刻も早く復旧

下水道は使えなくなると困る大切なライフラインの一つです。災害時には一刻も早い復旧を目指し、被害を最小限に食い止めなければなりません。

このため市は、ポンプ場や下水管を管理する業界2団体（※）と「下水道施設の災害時復旧支援協定」を1月17日、県とともに締結しました。災害時には、初動対応のスピード化および早期復旧が可能になります。

※地方共同法人日本下水道事業団、公益社団法人日本下水道管路管理業協会